

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業
実施報告書【重点課題推進校用】

学校番号	10
学校名	富山県立中央農業高等学校

重点課題	最先端技術を取り入れた職業教育	
課題設定の趣旨	<p>本校では、中長期ビジョンとして、明るく豊かな社会の構成者及び農業の担い手にふさわしい人格の完成をめざし、個性の伸長と能力の開発に努め、創造性豊かで心身ともに健康で社会の進展に対応できる近代的な職業人を育成することを掲げている。</p> <p>そのためには、①「未来の健康を支える食・農・環境を考え、実現しようとする力」、②「生かされている命を大切に力強く生きようとする自覚」及び③「経験を通して得られた自己肯定感と自己有用感の上に築かれる自信を持って生きる力」の3つの力を育み、農業経営者や地域産業の担い手の育成を目指している。特に③の力を伸ばすために農業クラブ活動や課題研究の充実を図り、生徒が主体的・対話的で深い学びが実現されることにより、生徒の興味・関心を高め、学習意欲や問題解決能力が向上することを期待する。</p>	
中長期ビジョンを実現するための今後の重点事項	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代農業の魅力的な最先端農業技術やSDGsの観点を取り入れた農業経営を学ぶことにより、就農意欲の向上を図る。 ・実験実習などの体験的な学習を通して、実践力や創造力及び課題解決能力を育成する。 ・地域の課題を解決することにより、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、未来を自ら切り拓き、富山や全国を舞台に活躍する産業人を育成する。 ・自己肯定感を身につけるとともに、命を尊び、他者を思いやり支え合う心を持った豊かな人間性を育む。 	
実施内容 (具体的に記入する)	<p>1 省力化・精密化・効率化・環境創造型稲作栽培のプロジェクト学習 (目的)次世代農業の担い手を育成するために、最先端農業機械によるスマート農業と水田におけるドジョウの養殖を組み合わせた新しい環境創造型稲作栽培法を開発する。 (実施内容) ・株式会社北陸近畿クボタとスマート農業機械の操作について連携。 ・マツウラ技研と水田におけるドジョウの養殖法について連携。</p> <p>2 中山間地農業の課題解決プロジェクト学習 (目的)中山間地において野生動物による農作物被害を受けないトウガラシを栽培、商品開発し、中山間地における耕作放棄地の解消につなげる。 (実施内容) ・数品種のトウガラシを栽培し、商品開発をする。</p> <p>3 地域の貴重遺伝子資源の継承プロジェクト学習 (目的)富山の貴重遺伝子資源である中地山カブの栽培法と食品の開発により、中地山カブを後世に継承する。 (実施内容) ・中地山カブの効率的な栽培方法を確立するとともに、漬物等の食品を開発する。</p>	
取組の成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代農業の魅力的な農業技術やSDGsの観点を取り入れた農業経営を学んだことにより、農業に関する興味や就農意欲が向上した。 ・環境負荷を低減する新しい農法の開発により、持続可能な農村や社会を形成しようとする意識や実践力が向上した。 ・実験実習などの体験的な学習を通して、実践力や創造力及び課題解決能力を育成することができた。 ・地域の課題を解決することにより、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、未来を自ら切り拓き、富山や全国を舞台に活躍したいという意識を育成することができた。 ・自己肯定感を身につけることができた。また、命を尊び、他者を思いやり支え合う心を持った豊かな人間性を育むことができた。 	
対象者(学年・人数など)	3年(16名)、2年(11名)	
実施実績	4月	
	5月	
	6月	北陸近畿クボタによるスマート農機講習会
	7月	
	8月	中地山カブの栽培法講習会
	9月	
	10月	北陸近畿クボタによるスマート農機講習会
	11月	中地山カブの栽培法講習会
	12月	
	1月	
	2月	マツウラ技研によるドジョウの生態・養殖技術講習会
	3月	